

平成 30 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 日本パワーファスニング株式会社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 土 肥 雄 治
(コード番号 5950 東証第二部)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 小 西 良 幸
(電話番号 06(6442)0951)

**特別損失(減損損失)の計上及び法人税等調整額(益)の計上並びに
業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、平成 30 年 12 月期第 3 四半期決算において、下記のとおり特別損失(減損損失)を計上するとともに、それらの影響を加味した最近の業績動向などを踏まえ、平成 30 年 8 月 8 日に公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正することいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上

当社は、平成 30 年 8 月 24 日に公表いたしました当社滋賀事業所の土地及び建物の売却の決議に伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、売却価額及び売却に関わる費用をもとに回収可能性を検討した結果、平成 30 年 12 月期第 3 四半期連結累計期間において、減損損失 47 百万円を特別損失に計上することいたしました。

2. 法人税等調整額(益)の計上(平成 30 年 12 月期)

上記滋賀事業所の土地売却に伴う土地再評価差額金及び繰延税金負債の取崩し等により、法人税等調整額(益)約 60 百万円の計上を予定しております。

3. 業績予想の修正

(1) 平成 30 年 12 月期 通期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 7,500	百万円 50	百万円 10	百万円 50	円 銭 3 08
今 回 修 正 予 想 (B)	7,350	100	150	100	6 16
増 減 額 (B - A)	150	150	160	150	
増 減 率 (%)	2.0	-	-	-	
(ご参考)前 期 実 績 (平成 29 年 12 月期)	7,799	100	124	117	7 16

(2) 修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間の売上高は、当社の主力製品であるドリルねじ・ガスツールについては一般建築市場向け売上は比較的堅調に推移したものの、住宅市場向けの売上不振やソーラーパネル組立て加工の減少をカバーするには至らず、また、中国現地法人での EV 関連の立ち上がりの遅れ等も重なり、当社予想を下回って推移しました。利益面においても、赤字が続いていた中国の表面処理子会社を譲渡する等コスト低減に努めましたが、売上高の減少による固定費負担の増加に加え、中国現地法人においても原材料仕入れの見直し等により見込んでいたコスト削減効果が計画を下回り原価率が悪化しました。

当第 4 四半期連結会計期間(10-12 月期)においては、例年当社の繁忙期であることに加え、一部猛暑や台風による工事の遅れも解消し、販売増強策の効果も相まって、売上高も当初見込みを上回って回復する見通しであります。利益面においても、増収効果に加えて、生産合理化の進展や各種経費の削減等により、大きく改善する見込みですが、第 3 四半期連結累計期間までの影響を補うには至らない見込みです。

これらの影響を加味した最近の業績動向などを踏まえ、平成 30 年 12 月期通期(累計)連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上